

2026年8月10日

## 「水道MDMS」の利用契約締結および 東北・新潟エリアでの提供開始について

北海道電力ネットワーク株式会社（北海道札幌市、代表取締役社長 社長執行役員：細野一広）と東北電力ネットワーク株式会社（宮城県仙台市、代表取締役社長：高野広充）は、このたび、北海道電力ネットワークが開発・保有する水道MDMS<sup>※1</sup>（以下、「本システム」）に関する利用契約を締結いたしました。

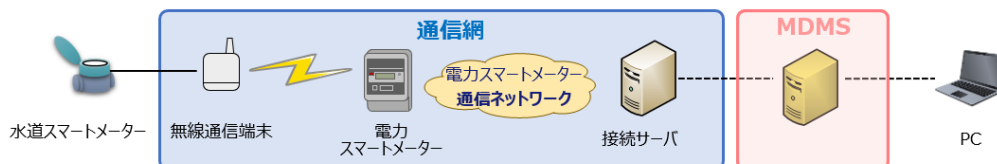
本契約に基づき、2026年8月以降、東北・新潟エリアの水道事業者向けに本システムを活用した新たな機能やサービスを順次提供してまいります。

北海道電力ネットワークおよび東北電力ネットワークでは、それぞれのエリアにおいて、電力スマートメーターを活用した水道の自動検針サービス<sup>※2</sup>を水道事業者向けに提供しており、今回、北海道エリアで実績を重ねてきた有効性および信頼性のある本システムを東北・新潟エリアへ展開することで、東北・新潟エリアの水道事業者に対する新たな価値提供や、業務効率化・設備管理の高度化につながるものと考えております。

また、今回の契約締結は、北海道と東北という地域の垣根を越えて、一般送配電事業者同士が連携し、社会インフラ分野の課題解決に挑戦する取り組みであり、両社は今後も、これまで培った技術やノウハウを活用し、地域社会を支えるさまざまなインフラ分野における課題解決に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

- ※1 メーターデータ管理システム。水道スマートメーターから取得した使用水量データ等を収集・蓄積・管理し、遠隔での検針業務や漏水監視のほか、データ活用による設備管理の高度化等を支援する。
- ※2 水道メーターと電力スマートメーターを無線端末で接続することにより、水道使用量等のデータを遠隔で自動収集できるサービス。

【自動検針サービスイメージ図】



以 上

（別紙）水道MDMS提供に関する連携イメージ図

# 水道MDMS 提供に関する連携イメージ図

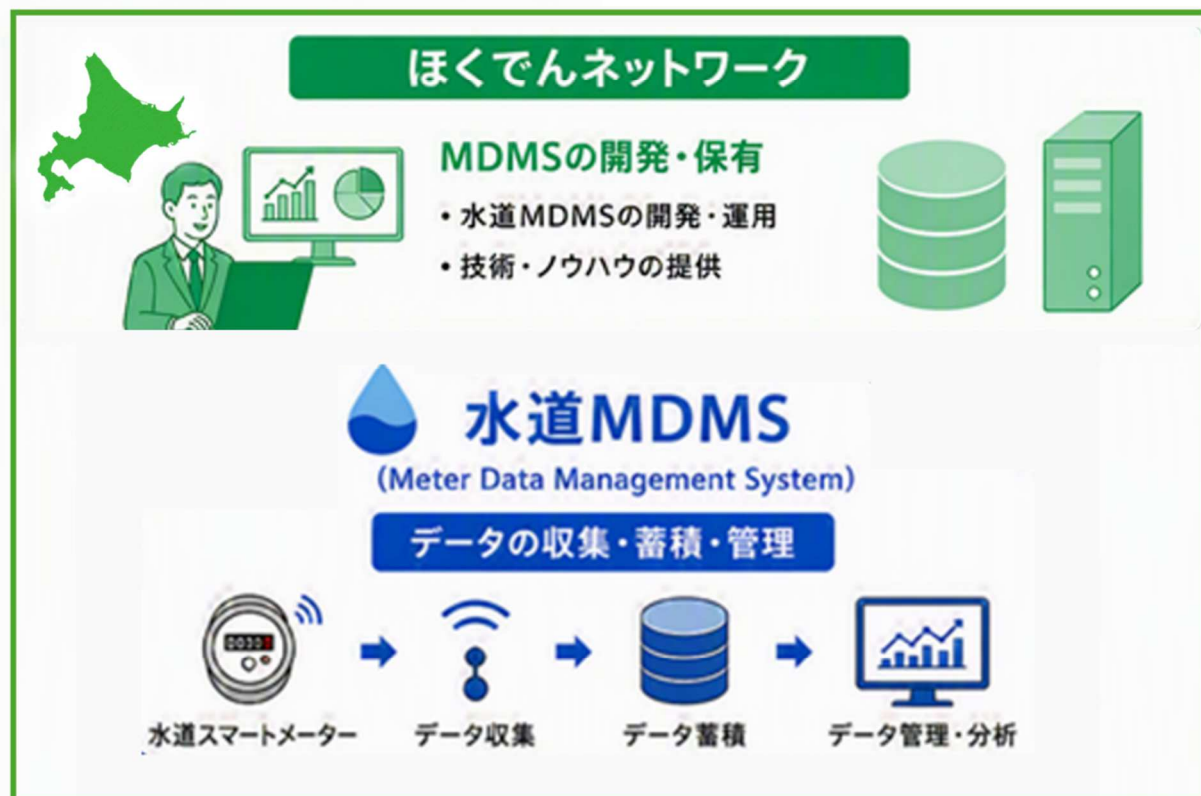


ほくでんネットワーク

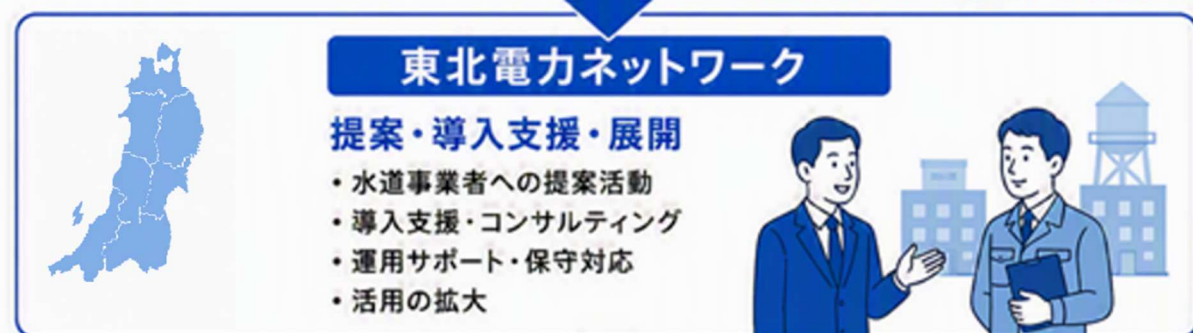


より、そう、ちから。

東北電力ネットワーク



水道MDMSの提供・技術支援



—— 水道DXの推進・持続可能な地域社会の実現へ ——



**検針業務の効率化**

自動検針・データ活用により  
検針業務の効率化と  
コスト削減を実現



**漏水の早期把握**

データ分析による  
漏水の早期発見で  
水資源の有効活用に貢献



**設備管理の高度化**

データに基づく適切な  
維持管理で設備の  
安定運用を支援

両社は、水道事業者との連携を深めながら、  
水道分野をはじめとする社会インフラの高度化と持続可能な地域社会の実現に貢献します。